

## 2014 年度 事業報告書

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト

### 1. 概要

本年度より植林中心の活動から、本格的に、過去の植林地の維持や先住民の所有する森林での養蜂、果樹栽培、沈香の植林等のアグロフォレストリーを行い、コミュニティー・フォレストリーの実践の基盤作りを中心に行いました。コミュニティー・フォレストリーは、今年で2年目ですが、各村で浸透しつつあり、村人より様々な依頼が出ており、村人の興味がこの事業に向いているのが感じられ、今後の軸となる作業になることが予想されますが、一方で、村人の無使用の土地がかなりある事が認識出来ましたので、土地の有効利用へ繋がられます。

年間の新規植林規模は、昨年同様20haで、既植林地での効率的な維持活動を進めて、より良い生育環境の整備を行いました。

### 2. 作業の詳細

#### 1) サラワク州森林局担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2014年4月8日 サラワク州森林局植林部会議室

出席者： Mr. Wong Siong Kuan (サラワク州森林局植林部部长),  
Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長) 延べ5名

内容： 新任の植林部部長の Mr. Wong 氏も含め、植林活動の体制と、  
サラワク州森林局の協力内容の確認、活動の問題点や課題に関する打ち合わせ。

#### 2) サバル森林保護地区近隣の先住民との打ち合わせ

日時・場所： 2014年4月12日 サバル森林保護地区内事務所にて。

出席者： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

Mr. Ekin Empati 他村人15名 延べ18名

内容： 年間計画における植林の日程や人員動員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民の農耕作業との兼ね合いができる日程等の打ち合わせ。  
コミュニティー・フォレストリー実践における方針の打ち合わせ。

### 3) サバル森林保護地区の既植林地の第1回維持活動

既植林地の成長率の良く無い場所や、問題の箇所を特定をし、今年度の維持活動の優先順位を決めた。  
まずは、成長率の良く無い乾燥地の場所の維持活動、及び、植替え等を行った。

- ・日時、場所 2014年4月15日～4月24日 サバル森林保護地区  
植替え用の植林苗木 80本(既植林地4ha)  
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)  
先住民10名 他

### 4) 第6回定時総会、及び、理事/会員による、サバル森林保護地区年間20ha植林の第1回植林(1ha)

今年度初の植林は、第6回定時総会に合わせて、日本からの理事の参加による植林でした。

- ・日時、場所 2014年6月4日～6月8日 サバル森林保護地区  
400本(1.00ha)  
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)  
天野正昭 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 監事)  
後藤 斎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事)  
伊藤千尋 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事)  
テンインシオン (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 会員)  
イダ フランシス (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 会員)  
先住民10名  
Sabal Kruin 村、Sabal Apeng 村、Sg. Kura 村の3村の代表者

### 5) サバル森林保護地区の既植林地の第2回維持活動

維持活動は、主に、緩効性肥料を利用し、また、下枝落しを中心に行いました。

- ・日時、場所 2014年6月20日～6月26日 サバル森林保護地区  
植替え用の植林苗木 100本(既植林地8ha)  
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)  
先住民10名

6) ジョホールバル日本人学校植林

隔年で主催される、修学旅行の一環で、今年で3回目の植林となる、ジョホールバル日本人学校の小学部の5年生と6年生の植林。

- ・日時、場所 2014年6月23日~6月27日 クバ国立公園  
100本(0.25ha)  
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)  
先住民5名 他

7) N. GKS 澤井隊の植林 サバル森林保護地区年間20ha植林の第2回植林(1.5ha)

今回で6回目となるN. GKS 澤井隊の植林は、平成25年度8月に続き、近隣の約20名の小学生を招待し、植林活動を行いました。

- ・日時、場所 2014年7月5日~7月11日 サバル森林保護地区  
600本(1.5ha)  
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)  
先住民10名 テラグス小学校の5~6年生の20名と引率教員

8) 立教大学観光学部植林 サバル森林保護地区年間20ha植林の第3回植林(1ha)

今回で5回目となる立教大学観光学部の植林を行いました。過去同様に苗運びから穴掘り、植込み、肥料頒布、一式を行う植林で、学生と先住民の人々との交流がおこなわれました。

- ・日時、場所 2014年8月3日~8月9日 サバル森林保護地区  
400本(1ha)  
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)  
先住民10名 他

9) コミュニティ・フォレストリー 果樹や沈香の苗木の植林

日時、場所 2014年9月10日~9月29日 サバル森林保護地区近隣の4村にて(各2家族)。

Sabal Aping村 / Sabal Kruin Lama村

Sabal Kruin baru村 / Sabal Kruin Tengah村

1,200本

樹種: 果樹(ランブータン、ダバイ、マンゴスチン、ランサット、マンゴ等, -900本)  
沈香(300本)

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)  
先住民30名 他

10) サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業（4~9月を通し）

サバル森林保護地区、森林局事務所の苗畑センターでの苗作りと苗の育成を定期的に先住民の人々に手伝ってもらっています。週に1回、植林に関わる人々から数人ずつで、苗畑センターにてポット苗作り、水掛け、肥料やり等の作業をします。苗木も出来るだけ沢山の種類を育てる事が出来る様にしています。

- ・日時、場所 2014年4月~9月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）  
酒井和枝（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）  
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）  
先住民10名

11) サバル森林保護地区年間20ha 及び 維持活動。

新規植林の800本以外に、維持活動は、枯れた苗木の植替え、及び、緩効性肥料頒布を中心に行いました。また、3m以上の木は枝打ち作業を行いました。

- ・日時、場所 2014年10月24日~10月28日 サバル森林保護地区  
800本（2.00ha）  
樹種：*Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）  
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）  
先住民10名

12) サバル森林保護地区年間20ha 及び 維持活動。

新規植林の1200本以外に、維持活動は、枯れた苗木の植替え、及び、緩効性肥料頒布を中心に行いました。また、3m以上の木は枝打ち作業を行いました。

- ・日時、場所 2014年11月24日~11月29日 サバル森林保護地区  
1200本（3.00ha）  
樹種：*Dryobalanops Beccarii*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）  
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）  
先住民10名

13) サバル森林保護地区年間20ha。

新規植林の3000本の植林を行いました。

- ・日時、場所 2014年12月8日~12月22日 サバル森林保護地区  
3000本（7.50ha）  
樹種：*Shorea Macrophylla* と *Dryobalanops Beccarii*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）  
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）  
先住民10名

14) コミュニティ・フォレストリー 果樹や沈香の苗木の維持活動

日時、場所 2014年12月20日~12月22日 サバル森林保護地区近隣の4村にて(各2家族)。

Sabal Aping村 / Sabal Kruin Lama村

Sabal Kruin baru村 / Sabal Kruin Tengah村

1,200本

樹種: 果樹(ランブータン、ダバイ、マンゴスチン、ランサット、マンゴ等、-900本)  
沈香(300本)

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民30名 他

15) サバル森林保護地区年間20ha 及び 維持活動。

新規植林の1600本の植林を行いました。維持活動は、枯れた苗木の植替え、及び、緩効性肥料頒布を中心に行いました。また、3m以上の木は枝打ち作業を行いました。

・日時、場所 2015年1月17日~1月31日 サバル森林保護地区

1600本(4.0ha)

樹種: *Shorea Macrophylla* と *Dryobalanops Beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民10名

16) コミュニティ・フォレストリー関連事後調査

各村の植林地にて、生育状態の確認、及び、各村の村長との会合。

日時、場所 2015年2月27日~2月28日 サバル森林保護地区近隣の4村にて(各2家族)。

Sabal Aping村 / Sabal Kruin Lama村

Sabal Kruin baru村 / Sabal Kruin Tengah村

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民30名 他

17) サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業(10~3月を通し)

サバル森林保護地区、森林局事務所の苗畑センターでの苗作りと苗の育成を定期的に先住民の人々に手伝ってもらっています。週に1回、植林に関わる人々から数人ずつで、苗畑センターにてポット苗作り、水掛け、肥料やり等の作業をします。苗木も出来るだけ沢山の種類を育てる様にしています。

・日時、場所 2014年10月~2015年3月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPOボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)

先住民10名